

# 令和8(2026)年度 みよし市の エコエネルギー促進事業補助金

2026.4.1現在

補助事業	補助限度額	補助対象
1 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)	定額80万円 (断熱等級6) 定額100万円 (断熱等級7)	国が定めたZEHロードマップにおける「ZEHの定義」を満たし、かつ省エネ性能表示制度の地域区分6における断熱等性能等級6・7の基準を満たす住宅 (Nearly ZEH、ZEH Ready、ZEH Orientedを除く)
2 外部給電設備 (住宅用)	10% 上限5万円	停電などの非常時に次世代自動車などから住宅に電力を供給できる設備 (以下を満たすもの) ●次世代自動車などに搭載される出力AC1500Wのコンセントから直接、住宅内特定回路へ電力を供給できる設備 ●安全性能として、地絡検出および屋内電路の漏電遮断機能を備えた設備 ●未使用のもの ●電気自動車等充給電設備 (V2H) でないもの
3 家庭用蓄電システム	10% 上限40万円	再生可能エネルギーにより発電した電力または夜間電力を繰り返し蓄え、停電時や電力需要ピーク時などに、必要に応じて電気を活用することができる設備 (以下を満たすもの) ●リチウムイオン蓄電池部 (リチウムイオンの酸化および還元で電氣的にエネルギーを供給する蓄電池) およびインバータなどの電力変換装置を備えている ●定置用のものに限り、容易に持ち運びができないもの
4 電気自動車等充給電設備 (V2H)	10% 上限5万円	電気自動車またはプラグインハイブリッド自動車 (以下「電気自動車等」) への充電および電気自動車等から分電盤を通じた住宅への電力の供給が可能なもの
5 家庭用燃料電池システム	10% 上限15万円	燃料電池ユニットおよび貯湯ユニットなどから構成され、都市ガス、LPガスなどから燃料となる水素を取り出して空気中の酸素と反応させて発電し、発電時の排熱を給湯などに利用できるもの
6 太陽熱利用システム (自然循環型)	10% 上限5万円	太陽エネルギーを熱エネルギーに変換して、熱媒体を加熱する集熱器およびその熱媒体を貯める貯湯部で構成されるシステム (以下を満たすもの) ●集熱器および貯湯部の間を自然循環作用によって熱輸送を行い、給湯に利用するもの ●一般財団法人ベターリビングの優良住宅部品の認定を受けたもの、またはそれと同等の機能を有するものに限る
7 太陽熱利用システム (強制循環型)	10% 上限10万円	太陽エネルギーを熱エネルギーに変換して、熱媒体を加熱する集熱器およびその熱媒体を貯める蓄熱槽で構成されるシステム (以下を満たすもの) ●集熱器および蓄熱槽の間を強制循環によって熱輸送を行い、給湯、暖房などに利用するものまたは集熱器で暖められた空気を集熱ファンにより強制的に室内に送風し、暖房などに利用するもの ●一般財団法人ベターリビングの優良住宅部品の認定を受けたもの、またはそれと同等の機能を有するものに限る
8 住宅用太陽光発電システム	4万円/kw 上限20万円	太陽電池を利用して電気を発生させるための設備およびこれに付属する設備 (以下を満たすもの) ●設置された住宅において電気が消費され、連系された低圧配電線に余剰の電力が逆流されるもの ●システムを構成する太陽電池モジュールの公称最大出力が50kw未満であるもの
9 外部給電設備 (自動車用)	設置に要した費用 上限1万円	次世代自動車等に取り付けられた、車両外部に出力AC1500W以上の電力を供給できる機能を有し、容易には取り外すことができない設備で、未使用のもの
10 スマートハウス加算	15万円加算	①住宅用太陽光発電システム ②家庭用エネルギー管理システム (HEMS) ③家庭用蓄電システム ④電気自動車等充給電設備 (V2H) ⑤断熱窓改修工事 ①～⑤の複合設置 (①+②+③、①+②+④、または①+②+⑤の同時申請に限る)
11 家庭用エネルギー管理システム (HEMS)	10% 上限1万円	家庭での電力使用量などを自動で実測し、機器の電力使用量などを調整する制御機能を有するもの

R8  
拡充!



※制度が変更される可能性があるため、詳細は必ずホームページでご確認ください。  
※補助金は予算の範囲内での交付となります。

